



新鑑札をご存知ですか。

鑑札が従来のものより、かわいい形になりました。

生後91日以上の子犬は、生涯に一度登録していただくこととなっております。まだ登録されていない方はご来所ください。紛失してしまった場合や、従来のものから新しい鑑札へ変更したいという方には再交付いたします。

登録手数料:3000円
(再交付 1600円)
(転入の方は旧鑑札と引き換えに無料で交換できます。)

登録をさせていただいた方には、ワクチンの記録や特徴などを書き込める「みなとDOGパスポート」を無料配布します。



DOGパスポート

予防注射はお済みですか。

毎年1回、狂犬病予防注射を受けることとなっています。動物病院で狂犬病予防注射を受け、獣医師の発行する「注射済証明書」をお持ちになって申請してください。

平成21年3月2日が21年度の切り替え時期となります。証明書の接種日が3月1日以前の方は20年度の注射済票をお渡しします。

新年度切り替えによって、20年度の注射済票をお渡しできない場合もありますので、お早めにご申請ください。

注射済票手数料:550円(再交付 340円)

4月上旬に集合注射を予定しています。詳しくは、3/21号の広報をご覧ください。

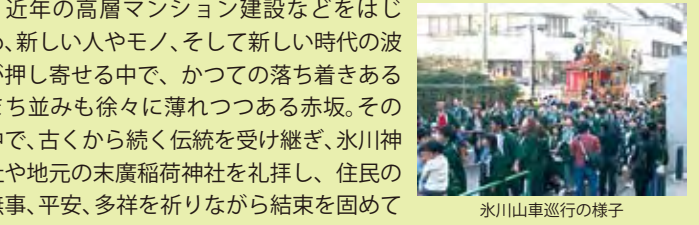
注射済票



お散歩の時にふんを持ち帰るためのうんち袋も配布しています。ご希望の方はお越しください。

あの人 この人 地域のこと
地域で活躍しているひとに聞きました。

赤坂
赤坂丹後町会
赤坂の伝統を受け継ぐ



近年の高層マンション建設などをはじめ、新しい人やモノ、そして新しい時代の波が押し寄せる中で、かつての落ち着きあるまち並みも徐々に薄れつつある赤坂。その中で、古くから続く伝統を受け継ぎ、氷川神社や地元の末廣稲荷神社を礼拝し、住民の無事、平安、多幸を祈りながら結束を固めてきたのが赤坂丹後町会です。

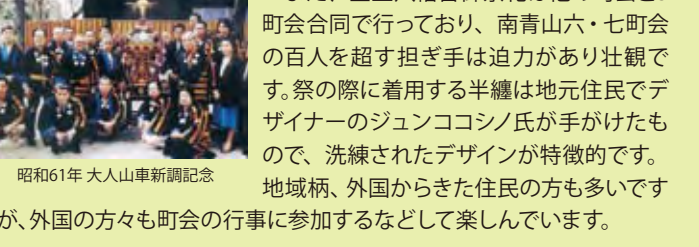
赤坂丹後町会では、氷川神社や末廣稲荷神社の祭事全般にわたった奉仕活動を行うとともに、行政、警察や消防と連携をとりながら地域の美化や防犯・防火について取り組み、住みよい街づくりを目指しています。また、このような日々の活動とあわせて、戦前の赤坂の様子を振り返って見るとに力をいれ、地域の方々により自分たちのまちに親しきを持ってもらえるような取り組みも行っています。

氷川神社や末廣稲荷神社の祭事を中心に、防犯パトロールや清掃活動など地域のためにできることをコツコツ積み上げてこまめに活動してきました。しかし、町会の中での若い力が育たず、なかなか思うように世代交代ができないままです。私たちが生まれ育った赤坂のまちの歴史を重んじることを忘れずに、また、これからの新しい時代を乗り越えられる力をどう取り入れていくか。これが赤坂丹後町会の今後の課題です。

赤坂丹後町会 杉山 晏 会長 談

青山
南青山六・七町会
明るく住みよいまちづくり

南青山六・七町会では、毎年8月末から9月にかけて夏休み子供納涼会や金王八幡宮御祭礼を行っています。夏休み子供納涼会は20年以上続いており、子供たちに花火を配ったり、手作りおでんや焼きそばを振舞うなど、地元の子供たちが毎年楽しみにしている恒例行事です。



また、金王八幡宮御祭礼は他の町会と3町会合同で行っており、南青山六・七町会の百人を超す担ぎ手は迫力があり壮観です。祭の際に着用する半纏は地元住民でデザイナーのジュンコシノ氏が手がけたもので、洗練されたデザインが特徴的です。地域柄、外国からきた住民の方も多いため、外国の方々も町会の行事に参加するなど楽しんでます。

今年度から第三日曜日に町会独自の清掃活動を始めました。現在は役員中心で行っていますが、いずれは地元企業をはじめとした町会内の多くの人々に参加していただけるよう活動に花を咲かせていきたいです。また、どの町会でも抱えている問題ですが、当町会でも役員の高齢化が進んでおり、ひとつの町会で出来る活動が限られてきています。昨年実施した山笠町会との合同夜間パトロールのように、これからは隣接する町会と連携した活動を展開していきたいです。

南青山六・七町会 本山 登 会長 談

お問い合わせ／地区活動推進課 活動推進係 電話:03-5413-7272

赤坂警察署からのお知らせ
だまされないぞ！
振り込め詐欺(恐喝)

オレオレ詐欺(恐喝)
被害者の約8割が女性で、特に中高年に集中

最近、警察官・弁護士・保険会社社員などを装って電話をかけ、相談金名目の現金を振り込ませるケースが増えています。また、暴力団員などを装って身代金や借金の返済を要求するケースも登場してきました。

架空請求詐欺(恐喝)
被害者の約6割が男性で、特に若年層が最多

有料サイト利用料金請求などがあります。最近の口実として、指定の携帯電話番号に連絡させて振込口座を指定するケースや、迷惑メールに記載されたURLをクリックしただけで高額な利用料金を請求するケースなどが増えています。

融資保証金詐欺
実際に融資しないにも関わらず、DMやメールで融資の勧誘を行い、電話等で申し込みをした客に対し、指定口座に現金を振り込ませるものです。

振り込め詐欺かなと思ったら、警察の相談窓口(＃9110)か、最寄の警察署にご相談ください。
緊急の場合は、すぐ110番通報してください！！

お問い合わせ／赤坂警察署 電話:03-3475-0110

赤坂消防署からのお知らせ
救急車を呼んだほうがいいのかな？
迷ったら救急相談センターへ

「救急車を呼んだほうがいいのかな？」「診察可能な病院を教えてください」等の声にお答えするため、東京消防庁は平成19年8月1日に【東京消防庁救急相談センター】を開設しました。

東京消防庁救急相談センターでは、受診等の判断や応急手当等のアドバイス、診察可能な医療機関のご案内等を行っています。救急隊経験者や医師、看護師が24時間体制で救急相談をお受けします。

東京消防庁救急相談センターのお問い合わせ先
＃7119(携帯電話・PHS・ブッシュ回線)
ダイヤル回線からは 23区:03-3212-2323
多摩地区:042-521-2323

緊急性がない場合で、入退院、通院等で交通手段がないときは東京民間救急コールセンターにお問い合わせください。民間救急車やサポートCab(タクシー)を24時間年中無休でご案内しています。(搬送費用は有料です。)

東京民間救急コールセンターのお問い合わせ先
0570-039-099 または 03-3262-0039

お問い合わせ／赤坂消防署 電話:03-3478-0119

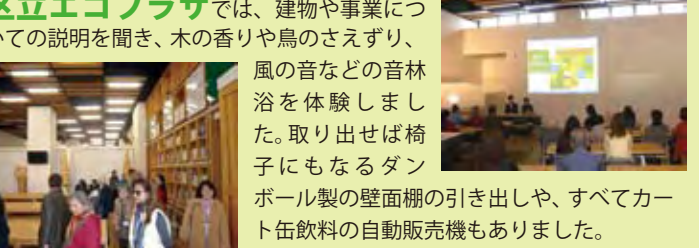
区内の3カ所を見学した「施設広聴会」

平成20年度の「施設広聴会」は、11月11日(火)に行いました。「施設広聴会」とは、区内施設を巡るバス見学会で、参加された皆さんからご意見を伺っている事業です。今年度は、赤坂地区総合支所が担当して実施しました。

当日は、30歳代から80歳代まで、22名の区民の皆さんが参加されました。また、ご家族で参加された方もいらっしゃいました。

今年度は、平成20年6月にオープンしたばかりの区立エコプラザ(浜松町1-19-1)と、TBS放送センター(赤坂5-3-6)と、カナダ大使館(赤坂7-3-38)の3カ所を訪問し、それぞれ1時間ほどの説明を伺いながら見学しました。

区立エコプラザでは、建物や事業についての説明を聞き、木の香りや鳥のさえずり、風の音などの音林浴を体験しました。取り出せば椅子にもなるダンボール製の壁面棚の引き出しや、すべてカート缶飲料の自動販売機もありました。



TBS放送センターでは、たくさん映し出されたカメラ映像を見ながら照明や音声の調整等や進行指示を出す部屋を見てから、スタジオのセットや大道具等を番組ごとのブースに収納している通路を通り、収録直前でスタッフが打ち合わせ中のスタジオを見学しました。また、報道番組で使用する模型などを作る美術の担当の方から実際の作品を見ながら説明を受けるなど、テレビ番組制作する裏方の見学をしました。



カナダ大使館では、4階にある「カナダ・ガーデン」で、地図のように配置された彫刻などの建造物や、大使館周辺のすばらしい眺めを堪能し、地下2階の「高円宮記念ギャラリー」で開催中の展示品と、「E・H・ノーマン図書館」を見学しました。

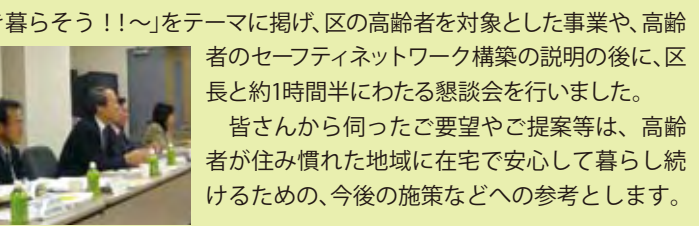
お問い合わせ／地区政策課 区民の声担当 電話:03-5413-7014

「区長と区政を語る会」に、区民8人が参加！

赤坂地区総合支所は、区内在住・在勤・在学の方々と港区長が直接に話す機会の一つとして、平成20年度の「区長と区政を語る会」を、12月18日(木)に開催しました。

今回は、「高齢者の在宅支援について～不安をなくして、楽しくいきいき暮らそう！～」をテーマに掲げ、区の高齢者を対象とした事業や、高齢者のセーフティネットワーク構築の説明の後に、区長と約1時間半にわたる懇談会を行いました。

皆さんから伺ったご要望やご提案等は、高齢者が住み慣れた地域に在宅で安心して暮らすための、今後の施策などへの参考とします。



お問い合わせ／地区政策課 区民の声担当 電話:03-5413-7014

赤坂・青山にある大使館・観光局「スロベニア編」

Slovenia

スロベニア

●面積 20,273 km²
●人口 約200万人
●首都 リュブリャナ
●言語 スロベニア語

スロベニア共和国大使館
〒107-0062 港区南青山7-14-12
TEL 03-5468-6275

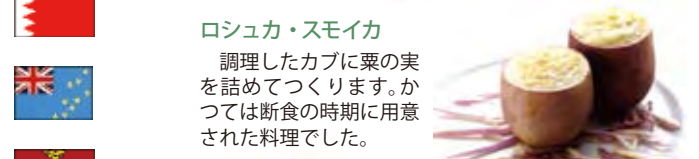


スロベニアはオーストリア、イタリア、ハンガリー、クロアチアとアドリア海に囲まれた小さな国です。東西ヨーロッパの影響を受けた日本の四国ほどの大きさであるこの国は、豊かな自然に恵まれ、美しいアルプスの山々、温泉、アドリア海沿岸のリゾート、歴史ある街並みやおいしいワインなど、たくさんの魅力が詰まっています。

スロベニアの食
スロベニアは、数多くの伝統料理や食習慣によって地域性が築かれてきました。その中から代表的な料理をいくつか紹介します。



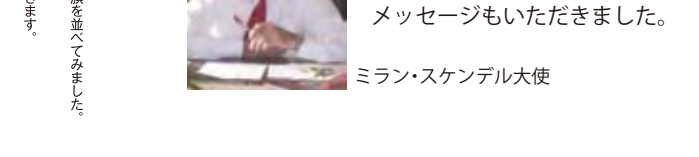
ポティツァ
スロベニア料理で最も有名なものの一つで、祝い事があるときに作られるロールケーキです。くるみ、けしの実、ハーブなどを使用します。



シュトルクリ
果物、木の実、肉、野菜、穀物を詰めたロールパイです。



ロシュカ・スモイカ
調理したカブに粟の実を詰めてつくります。かつては断食の時期に用意された料理でした。



シレキ
チーズ、赤唐辛子、香辛料を手で円錐型に成形し、日向やオーブンで乾燥させて作ります。白ワインのおつまみとして最適です。

大使館を訪問
南青山にある大使館を訪ね、ミラン・ステンデル大使からお話を伺いました。大使は、普段、日本食を食べていて、中でもお刺身が大好きとのことでした。また、「スロベニアは、草花や動物などの自然に囲まれ、古い街並みなどの文化遺産の残る美しい国です。ぜひ遊びにいらしてください。」との地域の方々へのメッセージもいただきました。

ミラン・ステンデル大使

「魅力ある公園づくり推進事業」分科会

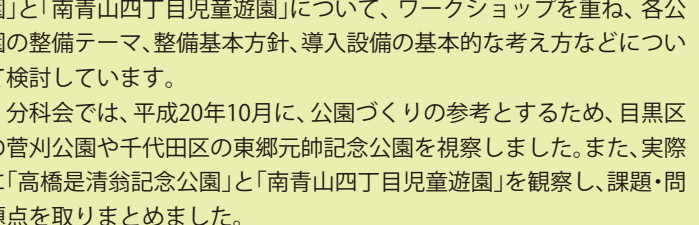
赤坂地区総合支所では、平成19年度に地区版基本計画等策定検討会を立ち上げ、地区版計画書の検討とともに、赤坂・青山地区の魅力ある公園づくりについて検討しました。

平成20年度には、「タウンミーティング」の「魅力ある公園づくり推進事業」分科会が新たに発足し、11名のメンバーで「高橋は清翁記念公園」と「南青山四丁目児童遊園」について、ワークショップを重ね、各公園の整備テーマ、整備基本方針、導入設備の基本的な考え方などについて検討しています。

分科会では、平成20年10月に、公園づくりの参考とするため、目黒区の菅刈公園や千代田区の東郷元帥記念公園を視察しました。また、実際に「高橋は清翁記念公園」と「南青山四丁目児童遊園」を観察し、課題・問題点を取りまとめました。

これらの活動をもとに、「高橋は清翁記念公園」及び「南青山四丁目児童遊園」の基本計画の平面図・整備イメージ図・報告書を今年度中に取りまとめます。

来年度以降、街づくり支援部において、公園の整備について、具体的な計画を作成していきます。



お問い合わせ／地区政策課 地区政策担当 電話:03-5413-7013



「地域教育、子育て環境整備事業」分科会

この分科会は、3年目の活動となります。18・19年の2年間の検討を受けて、「地域ぐるみでの子育て」を念頭に、赤坂・青山地区の地域特性を踏まえ、地域にお住まいの方々や団体、地元の企業等との連携による次の世代を担う子どもたちの育成プログラムづくりに取り組みました。

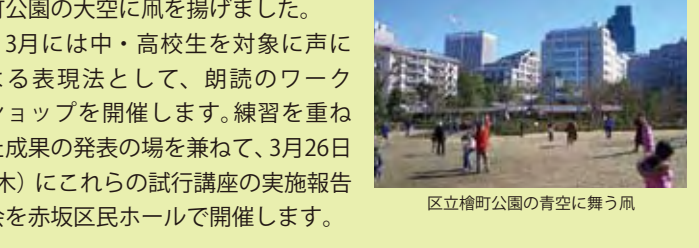
赤坂・青山地区の子どもや保護者のニーズ調査及び地域団体・事業所等の意向調査を実施し、その結果をもとに試行講座を実施中です。2月1日(日)には、榎町公園で子どもたちの遊びの見守り活動を行っているNPO「榎町公園遊びを考える会」と「日本の風の会」の協力により、ワークショップ「世界にひとつだけ オリジナル風をあげてみよう！」を実施しました。自分だけの風を作り、榎町公園の大空に風を揚げました。

3月には中・高校生を対象に声による表現法として、朗読のワークショップを開催します。練習を重ねた成果の発表の場を兼ねて、3月26日(木)にこれらの試行講座の実施報告会を赤坂区民ホールで開催します。

お問い合わせ／地区政策課 地区政策担当 電話:03-5413-7014

「文化・歴史振興事業」分科会

「旧町名由来板」の設置を進めています



今年度のメンバーは13名で、「赤坂一ツ木町」と「赤坂丹後町」で1基、「赤坂榎坂町」と「赤坂豊南坂町」で1基、「赤坂青山南町」で1基の合計3基の「旧町名由来板」の検討を進めています。設置場所の視察を実施したり、色やデザイン、材質などの細かな検討も、それぞれの由来板ごとに丁寧に行っています。

分科会では、「旧町名由来板」を通して、赤坂・青山地域に住む人、通勤や通学をしている人、観光で訪れる人、外国人の方など、多くの皆さんに、この地域の歴史や文化に触れていただき、次の世代にも伝えていくことができれば嬉しく思います。

今後も、昭和32年当時赤坂・青山地域に22あった旧町名の全てを紹介することを目標に、分科会を開催していきます。

お問い合わせ／地区政策課 地区政策担当 電話:03-5413-7014

青山小学校の児童がラジオ番組に出演！

青山小学校4～6年生の児童がTBSラジオ「夢をかなえよう」に出演しました。子どもたちの書いた夢や思いを「はなわ」さんと「こんのひとみ」さんがその場で歌にしてくれる番組です。楽しいトークと歌で盛り上がり、はなわさんが「青山小学校の歌」をプレゼントしてくれるサプライズも。最後は全員で校歌を元気に歌いました。

放送は2月15日(日)から毎週日曜日の朝8時00分～8時10分TBSラジオ(95.4kHz)で6回放送されます。

お問い合わせ／地区政策課 地区政策担当 電話:03-5413-7013

赤坂地区版基本計画策定検討会

「赤坂地区版基本計画策定検討会」(34名)は、新しい港区基本計画(平成21年度～平成26年度)のうち、今回初めて5つの地区がそれぞれ取り組み、策定する「地区版計画書」の策定に向けて、昨年11月に「赤坂・青山地区版計画」(2回目)を取りまとめ赤坂地区総合支所に提出しました(昨年度3月に、第1回目の提言を提出しています)。

区では、2回に亘りいただいた「提言書」の内容を踏まえ、多くの皆さんのご意見を伺いながら「赤坂地区版計画書」の策定に取り組んでいます。

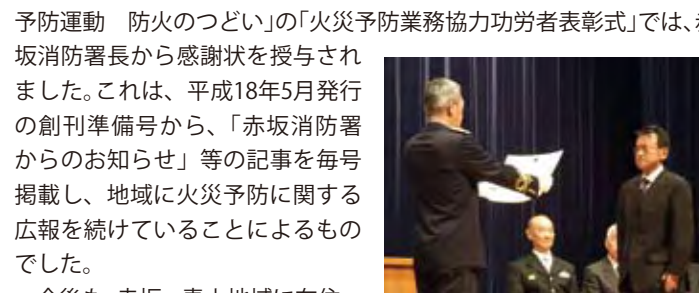
お問い合わせ／地区政策課 地区政策担当
電話:03-5413-7013 FAX:03-3402-8192

「地域情報の発信・交流事業」分科会

赤坂消防署から感謝状を授与されました！！

今年度は、9名のメンバーで地域情報誌「MYタウン赤坂青山」の企画・取材・編集を行い、6月に「商店街」を特集した第6号を、10月に「防災」を特集した第7号を発行しました。第8号は「坂」特集です。

そして、11月11日(火)に赤坂区民センターで行われた、「秋の火災予防運動 防火のつどい」の「火災予防業務協力功労者表彰式」では、赤坂消防署長から感謝状を授与されました。これは、平成18年5月発行の創刊準備号から、「赤坂消防署からのお知らせ」等の記事を毎号掲載し、地域に火災予防に関する広報を続けていることによるものでした。

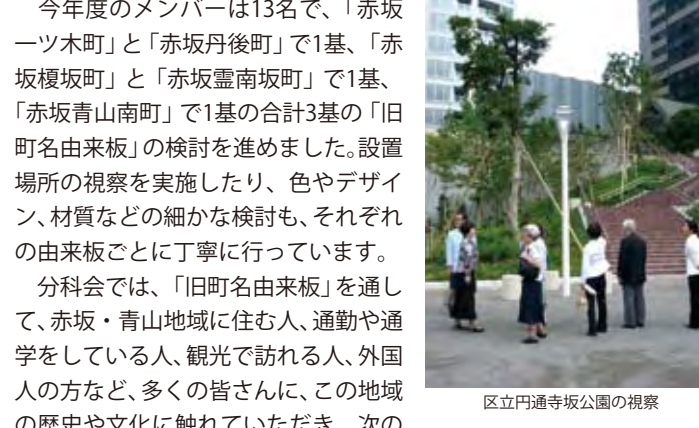


今後、赤坂・青山地域に在住・在勤・在学している編集委員の皆さんで地域の特色を活かした企画を組み、身近な情報を幅広い世代に伝える地域情報誌「MYタウン赤坂青山」を目指します。

お問い合わせ／地区政策課 区民の声担当 電話:03-5413-7014

「文化・歴史振興事業」分科会

「旧町名由来板」の設置を進めています



今年度のメンバーは13名で、「赤坂一ツ木町」と「赤坂丹後町」で1基、「赤坂榎坂町」と「赤坂豊南坂町」で1基、「赤坂青山南町」で1基の合計3基の「旧町名由来板」の検討を進めています。設置場所の視察を実施したり、色やデザイン、材質などの細かな検討も、それぞれの由来板ごとに丁寧に行っています。

分科会では、「旧町名由来板」を通して、赤坂・青山地域に住む人、通勤や通学をしている人、観光で訪れる人、外国人の方など、多くの皆さんに、この地域の歴史や文化に触れていただき、次の世代にも伝えていくことができれば嬉しく思います。

今後も、昭和32年当時赤坂・青山地域に22あった旧町名の全てを紹介することを目標に、分科会を開催していきます。

お問い合わせ／地区政策課 区民の声担当 電話:03-5413-7014

赤坂地区は坂の街。のぼったり、くだったり・・・。

赤坂の街を行き来する人は必ず坂に出会います。昔の人は生活の中でそれぞれに名前を付けて呼ぶようになり、それが今に言い伝えられています。その名前は何に由来しているのか、そして、その周辺の興味あるエピソードなども加え、坂の魅力を紹介します。

新坂 ①

今から約300年前の、元禄12年(1699)に新しく開設され、厚木街道へめける道として、つくられました。



榎坂 ③

江戸時代はじめ、浅野左京大夫幸長(ヨシナガ)がこのあたりで人口湖の造成(赤坂溜池)に成功し、その家臣の矢島長雲は、この功績を後世に残そうと、その堤に「印の榎」を植えました。これが、坂名と町名の起源となったと伝えられています。



丹後坂 ⑤

元禄元年(1688)に開かれたと推定されます。その頃、東北側に米倉丹後守(西尾丹後守ともいう)邸があったことから、こう呼ばれています。赤坂の中でも古い坂でかつての丹後町と一ツ木町の町界にあり、長さ4間、幅4間半の坂です。あまり急坂なので、何時しか階段となり、人々は丹後段々と呼ぶようになりました。今はビルが建ち並び、大勢の人がこの階段を行き来しています。



乃木坂 ②

東京メトロ千代田線、出口①か②を出ますと乃木坂になります。昔は行合坂、幽霊坂とも言われていましたが、大正元年(1912)乃木将軍の葬儀と同時に幽霊坂という名は廃止され、乃木坂に改められました。



九郎九坂 ④

江戸時代の一ツ木町名主、秋元八郎佐衛門の先祖、九郎九が住んでいたので坂名になりました。鉄砲練習場があったので鉄砲坂とも呼ばれていました。



青山地区には坂がない?・・・でも

根津坂 ⑫

青山にも坂道はありますが、何故か坂の名前がついていません。フロンティア青山の前の坂道、新築した青山迎賓館前の坂道、外苑西通りの緩やかな長い坂...などがあります。また、庚申塔から青山立山墓地に沿った坂道は、江戸時代から「北坂」と呼ばれたとか...東京の坂道ファン・坂道探訪の趣は奥深く 諸説多彩です。ここでは、通称「根津坂」と呼ぶ人の多い坂をご紹介します。根津美術館の白堀に沿った美しいカーブを描くスロープは、誰が歩いても絵になる素敵なお坂道です。是非そぞろ歩きをどうぞ...



薬研坂 ⑦

中央がくぼみ、両端が高くなっている長い坂で、この形が、薬種(薬の材料)を砕く器具の薬研に似ているのでこう呼ばれています。この坂は2.26事件に近衛第三連隊(現TBS・赤坂パークビルジグ)の兵士が時の大蔵大臣高橋是清殺害のために向かった道でもあります。



紀伊国坂 ⑩

紀州(和歌山県)徳川家の広大な屋敷があったことから名前が付けられました。小泉八雲の「怪談」にも出てくる坂としても知られ、都内でも風趣に富んだ坂の一つです。赤坂離宮前から井慶堀に沿って赤坂見附までゆるやかに下り、井慶堀の南側に港区です。かつて、このあたりに植えてあった茜が「赤坂」の名前の由来だと言われています。



牛鳴坂 ⑨

この道は状態が悪くだらだらと長く続くので、荷車を牽く牛が登るに難儀して悲鳴を上げたことからこの名前がつけられたといわれています。今の青山通りが整備されるまでは、この通りが鎌倉時代には奥州道、江戸時代には厚木街道と呼ばれ、東海道の裏街道として江戸への物資輸送の貴重な動脈となっていました。また、江戸の庶民にとっては厚木にあった大山神社への「大山詣で」の道として多に賑わったといわれています。



あ
の
坂、
こ
の
坂、
上
り
坂、
下
り
坂、
こ
ん
な
に
多
彩
な
生
い
立
ち、
話
題
が
た
く
さ
ん

三分坂 ⑪

急坂を上るために車賃をよぶんに銀三分(現在の百円あまり)払わなければならなかったため、この名前が付きましました。この坂は傾斜が急な上にカーブが二つもあり、交通量も多いのに意外なことに坂での交通事故はほとんどないとのこと。坂の上り口には報土寺があり、江戸時代後期に活躍した力士の雷電為右衛門が眠っています。



霊南坂 ⑫

江戸時代のはじめ高輪の東禅寺が嶺南庵としてここにあり、開山嶺南和尚の名を取って付けられました。いつか嶺が霊となったものです。ここには、1879年に、東京駅の設計で有名な辰野金吾氏の設計になる赤レンガの美しい尖塔のある霊南教会が造られました。これは大正時代の名建築として1985年に建て替えられるまで、赤坂のシンボルとして多くのの人に親しまれていました。



円通寺坂 ⑬

元禄8年(1695)頃に坂の上に移転してきた円通寺の名前を採った坂。それ以前にも同名の別院があったそうです。昔、このお寺の隣に木造建築のモダンなクリスチャンの幼稚園があり、昭和2～11年頃には生徒数が千人を超えていたとも言われています。



弾正坂 ⑮

赤坂御用地(元赤坂二丁目)と豊川稲荷別院との間を上り、青山通り(国道246号線)を斜めに交差して、さらに赤坂警察署と虎屋本社との間を(赤坂四丁目)山脇学園まで上る坂道。赤坂御用地側に吉井藩松平氏の屋敷があり、代々弾正大弼(だいひつ・今の法務次官)に任じられることが多かったため名付けられました。



新榎坂 ⑭

2004年、地域の再開発と同時に造られた新しい坂で、近くの榎坂にちなんでつけられた名前です。



鮫ヶ橋坂 ⑬

迎賓館と学習院初等科の間から「みなみもとまち公園」あたりが鮫ヶ橋坂と呼ばれています。昔、この辺りは低地でヨシなどが繁った池があり、南東へ流れて、鮫河となり、溜池に注いでいました。この河にかかった橋を鮫ヶ橋と呼び、その坂も鮫ヶ橋坂と呼ぶようになりました。しかし、寛永年間の江戸城外堀工事の際にあまった土でこの川は埋め立て、町に変わったと言われています。



転坂 ⑰

江戸時代から道が悪く、通行する人たちがよくころんだために呼ばれました。一時、盛徳寺横の元氷川坂もころび坂と呼ばれていましたが、今はならなくなっています。



稲荷坂 ⑮

坂の下、北側の角地に円通院があり、その境内の稲荷への門があったため、稲荷坂と呼ばれるようになりました。一時坂の途中から坂上の両側に江戸城内の清掃役を勤めたご家人の粗屋敷があったことから、掃除坂とも呼ばれていました。



本氷川坂 ⑰

坂途中の東側には本氷川明神があったので坂の名になったそうです。このあたりもお屋敷からビル、マンションに変わり、氷川神社の苔むした石垣や深い緑に抱かれて、静寂な散歩道です。この周辺に勝海舟の屋敷がありました。



桜坂 ⑳

明治中期に新しく作られた道筋で、坂下に戦災に合うまでは大きな桜の木がありこの名で呼ばれていました。1986年のアーキヒルズの大規模再開発事業と同時に桜坂からスベイン坂へと続くアーキヒルズの外周道路に約150本のソメイヨシノが植えられ、桜のトンネルとなっています。桜の季節、夜にはライトアップされ多くの人が訪れます。3月末頃にはアーキヒルズ桜まつりが開かれます。



氷川坂 ㉑

八代將軍、徳川吉宗の命で建てられた氷川神社のもと正面にあたる坂です。9月中旬の例大祭には復活された山車が「よいしょ」と一層かけ声を大きく引張られて登るのは壮観です。

檜坂 ㉒

東京ミッドタウンとつながって広がる檜町公園に沿って赤坂から六本木へとつながる坂道です。この一帯には江戸時代、長州藩毛利家の中屋敷があり、邸内には檜の木が多かったことから檜屋敷と呼ばれていました。その屋敷に沿った坂道なので、檜坂と呼ばれるようになったといわれています。東京ミッドタウンとなる前、ここには防衛庁があり、それ以前、明治から第二次大戦までは陸軍の第一連隊がおかれ、日本の防衛の中心でした。



1	新坂(しんざか)	赤坂7丁目4番、8丁目6番の間
2	乃木坂(のぎざか)	赤坂8丁目11番、9丁目6番の間
3	榎坂(えのぎざか)	赤坂1丁目9番、10番の間
4	九郎九坂(くろぐざか)	元赤坂1丁目3番、1丁目4番の間
5	丹後坂(たんござか)	赤坂4丁目2番、4丁目5番の間
6	南部坂(なんぶざか)	赤坂2丁目22番、六本木2丁目1番の間
7	薬研坂(やげんざか)	赤坂4丁目17番、7丁目1番の間
8	安鎮坂(あんちんざか)	元赤坂2丁目1番、2丁目2番の間
9	牛鳴坂(うしなきざか)	赤坂4丁目1番、4丁目8番の間
10	紀伊国坂(きのくにざか)	元赤坂2-1、千代田区との境
11	三分坂(さんぶんざか)	赤坂5丁目5番、7丁目6番の間
12	霊南坂(れいなんざか)	赤坂1丁目10番、虎の門2丁目10番の間
13	鮫ヶ橋坂(さめがはしざか)	元赤坂2丁目1番、千代田区の間
14	新榎坂(しんえのぎざか)	赤坂1丁目7番、11番の間
15	弾正坂(だんじょうざか)	赤坂4丁目9番、4丁目18番の間
16	円通寺坂(えんつうじざか)	赤坂4丁目13番、5丁目2番の間
17	転坂(ころびざか)	赤坂6丁目5番、6丁目9番の間
18	稲荷坂(いなりざか)	赤坂7丁目、5番、7丁目6番の間
19	本氷川坂(もとひかわざか)	赤坂6丁目10番、6丁目19番の間
20	桜坂(さくらざか)	赤坂1丁目11番、1丁目12番の間
21	氷川坂(ひかわざか)	赤坂6丁目8番、6丁目10番の間
22	檜坂(ひのぎざか)	赤坂6丁目19番、9丁目7番の間